

授業 科目	ES2F42	1 単位	選択	演習	2 学年後期	担当 教員	准教授 三沢 徳枝						
	子育て支援												
授 業 の 概 要	① 保育者が保護者に対して相談支援を行う上で必要な知識と技術を修得する。												
	② 保育の専門性を背景として、保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示などの支援についてその特定と展開を具体的に理解する。												
	③ 保育者が保護者との信頼関係を形成し、保護者や家庭の抱える支援のニーズに気づき理解し、実際に支援できるよう、事例検討を通して、支援内容と方法及び技術を具体的に理解する。												
	④ 保育者としての相談支援技術の習得のための演習やグループでの話し合いを行う。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。					○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
2. 保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。					○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照													
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標						復 習				
1	オリエンテーション	シラバスを読んでおく。	授業の進め方と評価の方法について理解する。 子育てに支援にかかわる知識について復習をする。						前期の講義科目で学んだ内容を復習しておく。				
2	子育て支援の特性 子どもと保護者への支援	教科書第1講を読んでおく。	子どもの権利について理解し、子どもの最善の利益を保障する保育のあり方を検討する。 保育所における子育て支援の特性を理解する						学習したことを踏まえて、第1講の演習に取り組む				
3	子育て支援の特性 保護者との信頼関係の形成	教科書第2講を読んでおく。	保育者に求められる専門性として、倫理観、態度、知識、技術を理解する。 援助関係における相互作用について理解する。						学習したことを踏まえて、第2講の演習1と演習2に取り組む				
4	子育て支援の特性 保護者や家庭のニーズへの気づきと多面的な理解	教科書第3講を読んでおく。	保護者や家庭の抱える支援のニーズを理解し、保護者をエンパワメントする方法を理解する。						学習したことを踏まえて、第3講の演習1と演習2に取り組む				
5	子育て支援の展開 子ども及び保護者の状況・状態の把握	教科書第4講を読んでおく。	子育て支援のプロセスを理解する ジェノグラム、エコマップの活用方法を理解する。						学習したことを踏まえて、第4講の演習2と演習3に取り組む				
6	子育て支援の展開 支援の計画と環境の構成	教科書第5講を読んでおく。	保育士の専門的知識・技術を活用した支援について理解する。 支援の実施と記録の意義について理解する。 支援の評価について理解する。						学習したことを踏まえて、第5講の演習2に取り組む				
7	子育て支援の展開 支援の実践・記録・評価・カンファレンス	教科書第6講を読んでおく。	職員間の連携・協働の必要性を理解する スーパービジョンの機能やコンサルテーションを理解する						学習したことを踏まえて、第6講の演習1に取り組む				
8	子育て支援の展開 職員間の連携・協働	教科書第7・8講を読んでおく。	社会資源との連携について理解する 自治体・関係機関や専門職との連携・協働について理解する						学習したことを踏まえて、第7講の演習1と第8講の演習1と演習2に取り組む				
9	子育て支援とその実際 (内容・方法・技術) 保育所における支援	教科書第9講を読んでおく。	保育所の子育て相談の内容について理解する。 保育所における子育て支援について理解する。						学習したことを踏まえて、第9講の演習1に取り組む				
10	子育て支援とその実際 (内容・方法・技術) 地域の子育て家庭への支援	教科書第10講を読んでおく。	地域の子育て家庭への子育て支援について理解する。 子ども・子育て支援新制度を理解する						学習した内容をまとめておく				
11	子育て支援とその実際 (内容・方法・技術) 障害のある子どもとその家庭への支援	教科書第11講を読んでおく。	保育士が障害のある子どもと接する上で必要な知識と保護者が子どもと関わるようになるための支援の方法を理解し、実践力を高める手順の理解を深める。						学習した内容をまとめておく				

12	子育て支援とその実際 (内容・方法・技術) 特別な配慮を要する子どもおよびその家庭に対する支援	教科書第12講を読んでおく。	特別な配慮が必要な子どもや保護者について理解する。 子どもの貧困について理解する 子どもの貧困に対する支援について理解する	学習したことを踏まえて第12講の演習に取り組む
13	子育て支援とその実際 (内容・方法・技術) 子ども虐待の予防と対応	教科書第13講を読んでおく。	虐待問題の背景を理解する。 虐待の予防と対策について理解する。 事例を通じて保育所での対応について理解を深める。	学習したことを踏まえて第13講の演習2に取り組む
14	子育て支援とその実際 (内容・方法・技術) 要保護児童等の家庭に対する支援	教科書第14講を読んでおく。	要保護児童等の家庭支援の社会資源について理解する。 親子関係の再構築のための支援について理解を深める。	本時の学習内容をまとめておく
15	子育て支援とその実際 (内容・方法・技術) 多様な支援ニーズをかかえる子育て支援家庭の理解	教科書第15講を読んでおくとともに、事前に示したブックレットから1冊選び読み、事例検討をする	多文化保育・教育について理解する。 多文化家庭の子どもや保護者に対する支援について考える。 多様な性の受容と対応について理解する。	学習したことを踏まえて第15講の演習1に取り組む
成績評価	授業内発表(10%) 課題・レポートの提出(40%) 試験(50%) 合計 100%			
教員からのコメント	子育て支援のあり方について事例を取り上げ、グループ・ワークを実施し、意見交換をして発表する。自分の考えと他学生の考えを理解し合いながら、多面的に支援を展開できる実践力を高める。積極的にグループ・ワークに参加すること。 *小テストや課題は授業内に指示する。			
教科書	書名 新基本保育シリーズ 子育て支援 著者 児童育成会監修 西村重稀・青井夕貴編集 発行所 中央法規	推薦図書	書名 授業の中で随時紹介する。 著者 発行所	